

静岡県月例経済報告

(平成27年11月号)

……平成27年9月を中心とした県内経済のすがた……

No. 475

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	12
・ 雇用面	15
・ その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成27年9月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

平成27年9月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱さがみられる。

先行きについては、堅調な設備投資などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産面での弱い動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、やや弱さがみられる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 生産は、弱めの動きとなっている。

需要面

◎個人消費は、やや弱さがみられる。

大型小売店販売額(9月)は、百貨店が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、スーパーが3か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(9月)は、乗用車が2か月ぶり、軽自動車が9か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも18か月連続で前年実績を下回った。

◎住宅建設は、前年を下回った。

新設住宅着工戸数(9月)は、分譲住宅が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家が4か月ぶり、貸家が3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(9月)は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成27年10月1日)の27年度設備投資計画は、製造業、非製造業ともに増加する計画となっており、全産業でも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(9月)は、10か月連続で前年実績を下回った。

◎輸出は、持ち直しの動きがみられる。

輸入は、前年を下回った。

輸出総額(9月)は、エアコンが11か月連続、自動車^が5か月連続、自動車の部分品^が2か月連続、二輪自動車類^が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機^が4か月連続、科学光学機器^が7か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも4か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額(9月)は、パルプや紙類及び同製品^が前年実績を下回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、878億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、弱めの動きとなっている。

鉱工業生産指数(8月)は、輸送機械工業や電気機械工業などで前年水準を下回ったことから、総合でも2か月連続で前年水準を下回った。また、5か月連続で前月を下回った。

また、産業用大口電力消費量(9月)は、14か月連続で前年実績を下回った。

なお、鉱工業在庫指数(8月)は、総合では6か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(9月)は1.19倍で、前月を0.01ポイント上回り、20か月連続で1倍を上回った。また、9か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員(9月)は、26か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(8月)は、3か月ぶりに前年水準を下回った。

その他

◎物価は、前年を上回った。

消費者物価指数(10月)は、総合で103.6となり、前年水準を上回った。

また、前月比は0.2%下落した。

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(9月)は、前年同月比1.6%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(9月)は、前年同月比2.3%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った。

企業倒産(10月)は、件数は18件と前年実績を下回り、負債総額は前年同月比12.7%増と前年実績を上回った。

◀ 県の取組 ▶

【「静岡県IoT活用研究会」の設立】

企業におけるIoT（モノのインターネット）を活用した取組を進め、経営力の向上やビジネス機会の創出につなげるため、「静岡県IoT活用研究会」を設立し、IoTの取組事例を紹介する「ものづくり革新セミナー」を開催しました。

研究会では、企業、大学、産業支援機関、行政などが相互に、IoTの活用に関する情報交換や意見交換、交流の場を設け、「事業活動の連携＝“つながる”」をテーマに、経営力の向上やビジネス機会の創出を目指します。

●「静岡県IoT活用研究会」の概要

設立日	平成27年11月5日（木）
会長	国立大学法人静岡大学学長 伊東幸宏氏
会員	①会員数 84 ※11月5日現在 ②主な会員 県内企業、大学、金融機関、自治体 など
活動内容	①企業活動におけるIoTの活用に関する情報提供、意見交換 ②IoTの活用による企業間連携などに関する情報提供 など

●「ものづくり革新セミナー」の概要

日時	平成27年11月5日（木） 14:00～16:10
場所	グランシップ 会議室（静岡市駿河区池田）
出席者	静岡県IoT活用研究会の会員企業など180人
内容	①「モノづくりの将来像とIoT」 三菱電機株式会社 名古屋製作所 e-F@ctory推進プロジェクトグループ プロジェクトグループマネージャー 楠 和浩氏 ②「工場・インフラにおける協立電機のIoTへの取組」 協立電機株式会社 技術本部 技術開発部 部長 齋藤彰利氏

県は、「静岡県IoT活用研究会」に参加する会員企業等を募集しています。

研究会では、IoTの活用に関する情報提供やビジネスマッチングなどを行います。業種は問いません。すべての事業者の方のご参加をお待ちしております。

詳しくは、下記までお問い合わせください。



▲セミナーの様子

○問合せ先

静岡県経済産業部 商工業局 経営支援課 経営革新班

Tel 054-221-2526 Fax 054-221-2349

ホームページ：<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-550/>

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

9月 = 32,396百万円

*前年同月比： 2.0%増

(県内3百貨店、142スーパー合計)

<概況>

9月の大型小売店販売額は32,396百万円で、前年同月比 2.0%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 4.9%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、スーパー（同 3.6%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同 7.2%減）、家庭用品（同 0.5%減）がいずれも3か月ぶり、身の回り品（同 0.2%減）が6か月ぶりに前年実績を下回ったものの、飲食料品（同 4.3%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.3%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額（百万円）	32,103	35,890	34,501	36,199	34,836	35,398	34,957	32,396
前年同月比（%）	▲ 0.7	▲ 13.9	6.3	4.0	▲ 0.7	2.5	2.9	2.0
うち 百貨店（%）	▲ 3.7	▲ 24.4	16.1	5.0	▲ 0.3	4.0	3.6	▲ 4.9
スーパー（%）	0.0	▲ 10.5	4.2	3.8	▲ 0.8	2.1	2.8	3.6
(参考1) 全国前年同月比（%）	1.3	▲ 13.0	8.6	5.3	▲ 0.3	2.1	1.8	1.7
うち 百貨店（%）	3.5	▲ 17.7	13.7	6.3	0.4	3.6	2.7	1.9
スーパー（%）	0.2	▲ 10.1	6.3	4.8	▲ 0.6	1.2	1.4	1.6
(参考2) 県前年同月比（店舗数調整前）	▲ 1.4	▲ 13.6	5.6	2.7	▲ 2.1	1.0	1.8	0.3

(注) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
衣 料 品	▲ 3.4	▲ 17.8	8.6	6.2	▲ 7.1	2.5	1.2	▲ 7.2
うち 紳士服・洋品	▲ 1.3	▲ 12.8	6.4	7.3	▲ 7.6	5.1	3.3	▲ 7.0
婦人・子供服・洋品	▲ 3.4	▲ 18.5	9.2	5.0	▲ 6.9	1.4	0.3	▲ 7.4
身の回り品	▲ 11.6	▲ 24.0	8.7	2.0	2.6	13.5	7.9	▲ 0.2
飲食料品	1.0	▲ 4.3	4.4	3.5	0.8	2.2	2.8	4.3
家庭用品	▲ 9.3	▲ 27.9	11.5	5.7	▲ 0.5	3.5	3.2	▲ 0.5
うち家庭用電気機械器具	▲ 18.9	▲ 24.7	28.3	23.7	▲ 7.1	28.1	28.6	14.7

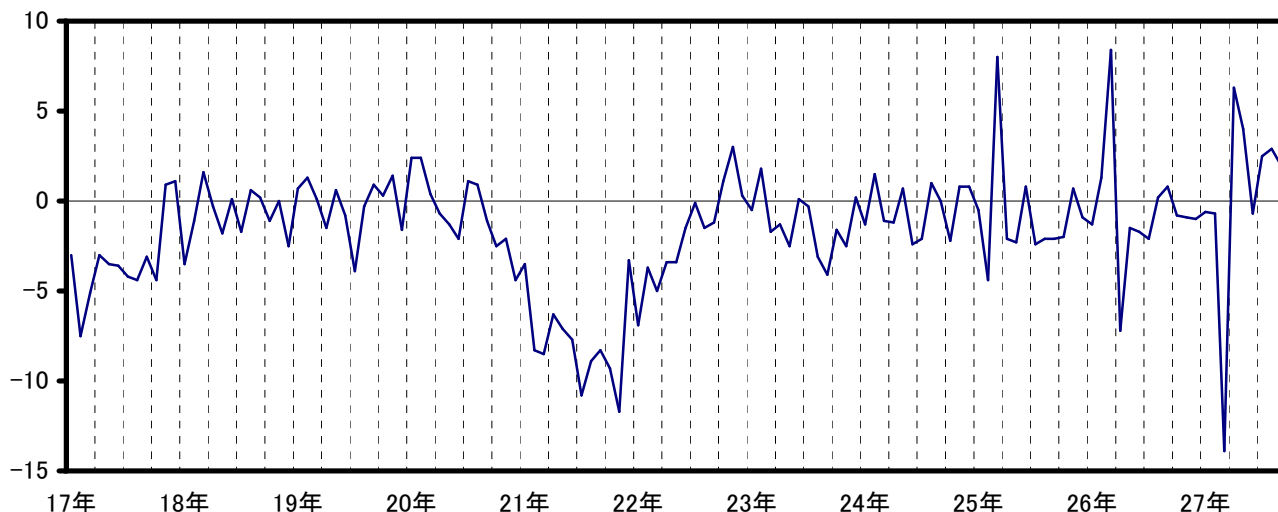
(注) 店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

9月 = 5,356百万円

*前年同月比： 6.0%減

(県内3百貨店販売額)

<概況>

9月の県内3百貨店の販売額は5,356百万円で、3か月ぶりに前年実績を下回った。
品目別にみると、雑貨（前年同月比 8.2%増）が6か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 13.5%減）、食料品（同 2.3%減）がいずれも2か月連続、身の回り品（同 5.4%減）が6か月ぶり、家庭用品（同 11.6%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額（百万円）	5,500	7,011	5,876	6,097	6,068	6,976	5,317	5,356
前年同月比（%）	▲ 5.2	▲ 25.6	14.7	3.6	▲ 1.5	2.8	2.3	▲ 6.0
(参考)全国前年同月比（%）	1.1	▲ 19.7	13.7	6.3	0.4	3.4	2.7	1.8

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

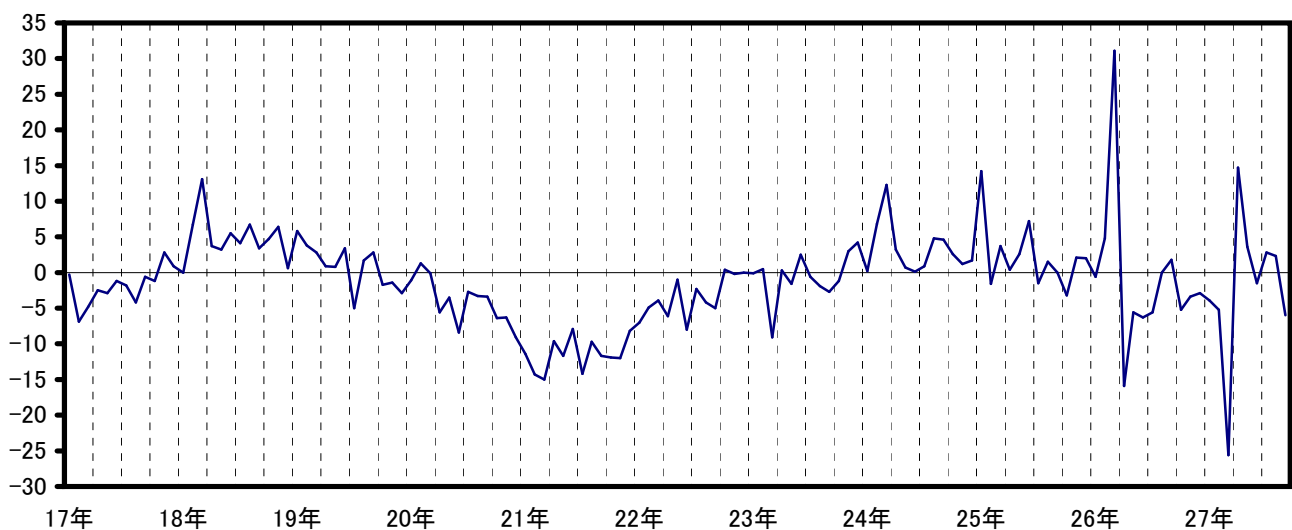
	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
衣料品	▲ 7.2	▲ 23.2	11.7	2.8	▲ 8.6	1.2	▲ 4.9	▲ 13.5
うち紳士服・洋品	▲ 1.6	▲ 14.5	9.4	4.4	▲ 7.4	4.7	▲ 0.5	▲ 14.4
婦人服・洋品	▲ 8.7	▲ 25.7	10.4	1.4	▲ 9.5	0.3	▲ 5.5	▲ 13.6
子供服・洋品	0.2	▲ 17.6	21.6	1.6	▲ 13.0	1.0	▲ 12.0	▲ 6.1
身の回り品	▲ 18.2	▲ 30.7	7.6	0.2	1.0	10.0	5.8	▲ 5.4
家庭用品	▲ 5.8	▲ 35.7	47.5	2.1	10.6	▲ 7.1	▲ 9.7	▲ 11.6
食料品	▲ 1.1	▲ 6.8	3.4	1.1	▲ 3.0	0.6	▲ 1.0	▲ 2.3
雑貨	▲ 1.8	▲ 44.1	47.9	15.2	14.2	13.7	27.7	8.2
うち美術・宝飾・貴金属	▲ 6.9	▲ 56.6	71.2	25.2	18.9	18.7	55.2	24.3

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 自動車(新車)新規登録台数

9月 = 15,890台

*前年同月比： 6.0%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

9月の自動車(新車)新規登録台数は15,890台(前年同月比 6.0%減)となり、18か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(同 2.3%減)が2か月ぶり、軽自動車(同 10.3%減)が9か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録台数(台)	18,188	24,066	10,372	11,424	14,719	14,211	10,888	15,890
前年同月比(%)	▲ 16.0	▲ 9.3	▲ 14.2	▲ 6.8	▲ 0.3	▲ 6.9	▲ 3.5	▲ 6.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 17.8	▲ 11.9	▲ 10.1	▲ 8.2	▲ 3.8	▲ 9.1	▲ 3.5	▲ 7.4

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

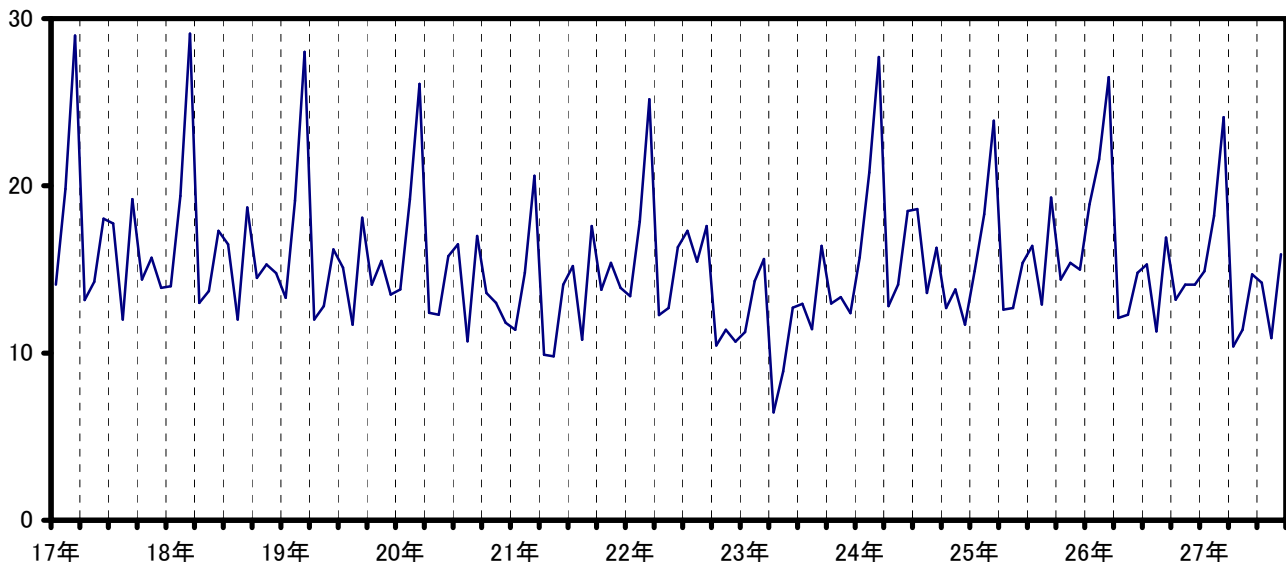
	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全乗用車	▲ 16.0	▲ 9.3	▲ 14.2	▲ 6.8	▲ 0.3	▲ 6.9	▲ 3.5	▲ 6.0
乗用車	▲ 18.3	▲ 15.2	▲ 0.4	2.3	7.7	▲ 3.2	1.5	▲ 2.3
軽自動車	▲ 13.4	▲ 2.2	▲ 25.4	▲ 15.7	▲ 8.4	▲ 11.3	▲ 9.2	▲ 10.3

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

9月 = 1,987戸

*前年同月比： 12.1%減

<概況>

9月の新設住宅着工戸数は1,987戸で、前年同月比 12.1%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 7.3%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（同 15.4%減）が4か月ぶり、貸家（同 19.2%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

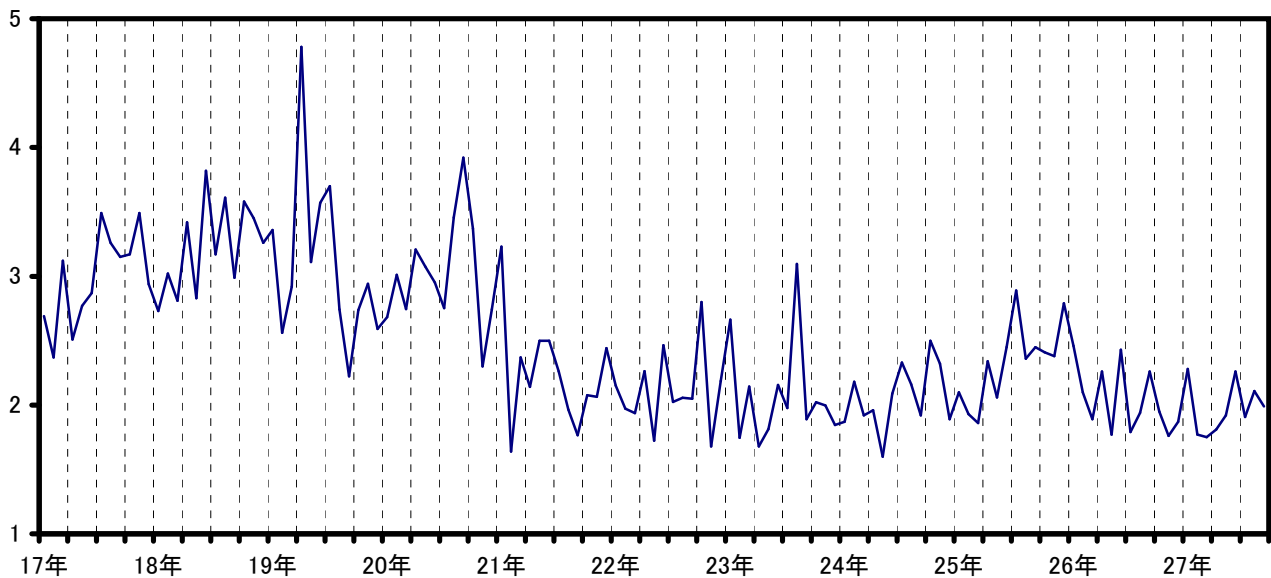
	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
戸数（戸）	1,771	1,751	1,805	1,915	2,255	1,908	2,105	1,987
前年同月比（%）	▲ 16.0	▲ 7.4	▲ 20.2	7.9	▲ 7.2	6.4	8.3	▲ 12.1
うち持家（%）	▲ 11.7	6.4	▲ 10.8	▲ 3.2	18.0	15.9	14.9	▲ 15.4
貸家（%）	▲ 40.6	▲ 20.4	▲ 17.4	9.6	▲ 33.4	5.2	4.7	▲ 19.2
分譲住宅（%）	96.0	▲ 20.7	▲ 48.5	69.1	8.3	▲ 19.3	1.5	7.3
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 3.1	0.7	0.4	5.8	16.3	7.4	8.8	2.6

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

9月 = 34,060百万円

*前年同月比：18.4%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

9月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は34,060百万円で、前年同月比18.4%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は1,134件で、前年同月比13.7%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
金額（百万円）	8,099	15,112	39,163	23,823	24,042	30,155	25,705	34,060
前年同月比（%）	▲25.0	▲9.9	▲1.1	▲31.1	▲21.7	1.5	11.1	▲18.4
年度累計前年同月比（%）	▲1.9	▲2.3	▲1.1	▲15.1	▲17.0	▲12.9	▲9.4	▲11.3
件数（件）	288	183	461	363	596	862	792	1,134
前年同月比（%）	25.8	▲16.8	10.0	▲23.1	▲18.6	▲1.6	11.5	▲13.7
年度累計前年同月比（%）	▲4.6	▲4.9	10.0	▲7.5	▲12.5	▲8.7	▲4.2	▲7.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

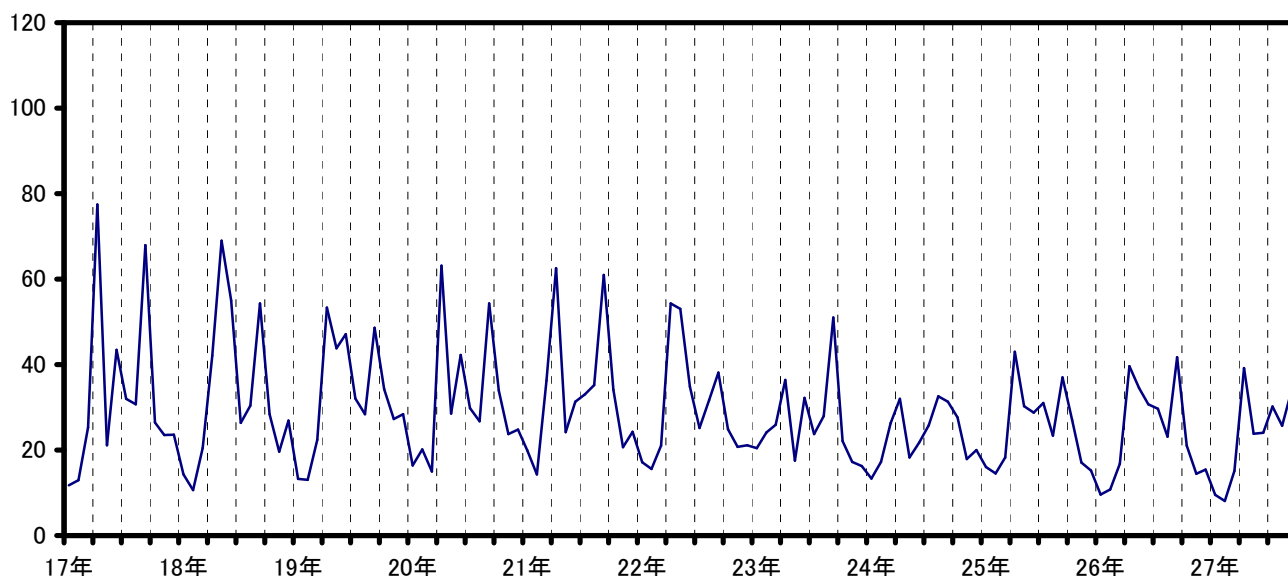
	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国	▲57.4	▲2.9	▲23.5	▲47.6	▲6.9	17.6	▲57.7	▲43.1
独立行政法人等	65.6	▲62.8	37.9	▲1.5	148.1	▲47.6	44.8	▲59.0
県	3.1	9.4	▲15.7	▲57.2	▲6.8	20.8	4.4	▲23.2
市町	▲3.9	▲35.6	▲3.0	23.4	▲30.2	▲13.2	35.6	▲5.7
地方公社	—	—	—	—	▲91.8	—	427.1	123.9
その他	▲69.7	298.7	83.9	▲49.4	▲63.7	93.9	59.6	15.9

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成26年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 13.8%増）で増加、非製造業（同 3.2%減）では減少となり、全産業（同 4.6%増）では増加となった。

平成27年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 33.3%増）、非製造業（同 9.3%増）でも増加する計画となっており、全産業（同 21.4%増）でも増加する計画となっている。

9月の着工建築物床面積（非居住用）は126,652㎡で、前年同月比 33.3%減となり、10か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>

（前年度比%）

		26年度 （実績）	27年度 （計画）	前回調査 比修正率	上期	前回調査 比修正率	下期 （計画）	前回調査 比修正率
全 産 業	県	4.6	21.4	2.0	24.7	▲ 1.1	18.8	4.8
	全 国	4.3	6.4	2.9	12.0	▲ 0.9	2.0	6.3
製 造 業	県	13.8	33.3	3.0	45.7	▲ 3.9	24.8	9.3
	全 国	6.8	13.5	1.0	19.5	▲ 3.4	8.8	5.2
非 製 造 業	県	▲ 3.2	9.3	0.9	6.7	2.4	11.8	▲ 0.5
	全 国	3.1	2.9	3.9	8.3	0.6	▲ 1.3	6.8

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年9月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（平成27年9月調査）」

<最近の動き>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	83,413	61,410	105,169	99,993	132,924	97,942	90,364	126,652
前年同月比（%）	▲ 8.3	▲ 69.0	▲ 24.6	▲ 21.3	▲ 24.3	▲ 30.6	▲ 10.1	▲ 33.3
（参考）全国前年同月比（%）	9.4	▲ 18.9	2.2	4.1	▲ 11.3	0.9	▲ 7.6	▲ 2.0

（注）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	27年6月	27年9月	27年12月 （予測）
全 産 業	3	6	2
製 造 業	3	5	3
非 製 造 業	3	5	1
（参考） 全 国 ・ 全 産 業	7	8	5

（注）業況判断D. I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年9月調査）」

5 輸出

9月 = 169,378百万円

*前年同月比： 0.4%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸出総額は169,378百万円で、前年同月比 0.4%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 13.9%減）が11か月連続、自動車（同 44.8%減）が5か月連続、自動車の部分品（同 12.3%減）が2か月連続、二輪自動車類（同 19.8%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機（同 30.6%増）が4か月連続、科学光学機器（同 43.2%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（同 0.2%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、米国向け（同 2.6%増）が2か月連続、EU向け（同 13.3%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出総額(百万円)	163,172	182,364	172,324	146,515	169,073	182,005	159,175	169,378
前年同月比(%)	▲ 3.6	0.6	▲ 4.5	▲ 8.7	6.9	4.3	2.9	0.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原動機	▲ 6.9	7.0	▲ 0.1	▲ 8.3	18.1	27.5	32.4	30.6
エアコン	▲ 19.0	▲ 22.2	▲ 23.1	▲ 33.4	▲ 19.9	▲ 23.6	▲ 16.0	▲ 13.9
自動車	▲ 13.2	▲ 0.6	9.1	▲ 15.9	▲ 8.6	▲ 18.3	▲ 29.9	▲ 44.8
自動車の部分品	▲ 4.3	▲ 0.3	▲ 15.3	▲ 7.5	11.7	5.7	▲ 10.7	▲ 12.3
二輪自動車類	5.3	9.4	2.3	6.0	21.3	▲ 11.5	10.7	▲ 19.8
科学光学機器	▲ 9.4	11.0	32.3	43.3	33.1	56.7	43.7	43.2

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	▲ 4.3	1.6	1.5	▲ 2.1	4.4	8.7	▲ 4.0	▲ 0.2
米国	▲ 0.8	▲ 8.8	▲ 4.8	▲ 5.8	5.4	▲ 1.3	1.8	2.6
EU	▲ 6.2	7.6	▲ 16.2	▲ 11.5	16.5	11.2	21.3	13.3

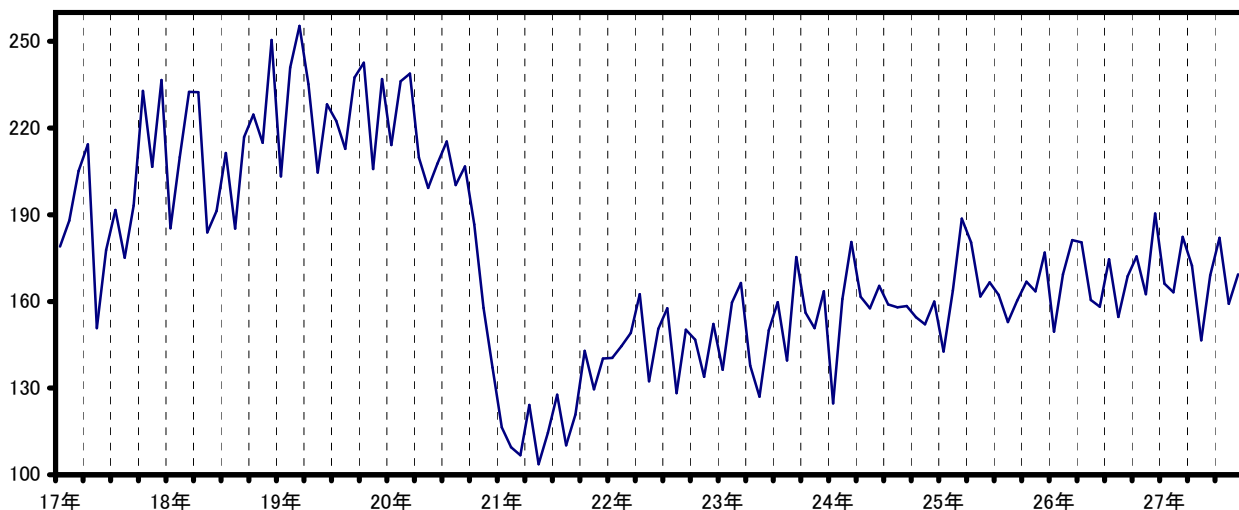
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

9月 = 81,578百万円

*前年同月比： 7.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸入総額は81,578百万円で、前年同月比 7.7%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類（前年同月比 7.9%増）が3か月ぶり、原動機（同 17.8%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、木材（同 14.2%減）が5か月連続、パルプ（同 26.2%減）が4か月ぶり、紙類及び同製品（同 17.7%減）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 12.0%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（同 12.0%減）が3か月ぶり、米国から（同 26.0%減）が4か月ぶり、EUから（同 8.8%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸入総額(百万円)	85,895	87,219	89,792	79,568	81,813	86,311	78,879	81,578
前年同月比(%)	9.0	0.9	1.2	▲2.4	▲6.4	6.5	0.2	▲7.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
魚介類	▲11.1	3.6	28.4	17.8	3.1	▲2.7	▲3.9	7.9
木材	11.5	▲20.4	3.1	▲12.8	▲26.1	▲17.3	▲6.8	▲14.2
パルプ	17.7	2.8	▲4.4	▲21.1	23.1	5.7	61.5	▲26.2
紙類及び同製品	14.2	▲18.6	▲10.1	▲11.8	▲17.1	19.5	7.4	▲17.7
原動機	▲37.9	▲59.6	▲47.3	▲67.0	▲68.2	9.4	▲0.2	17.8
自動車の部分品	19.0	23.5	83.3	14.8	2.8	▲5.1	▲26.3	▲12.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

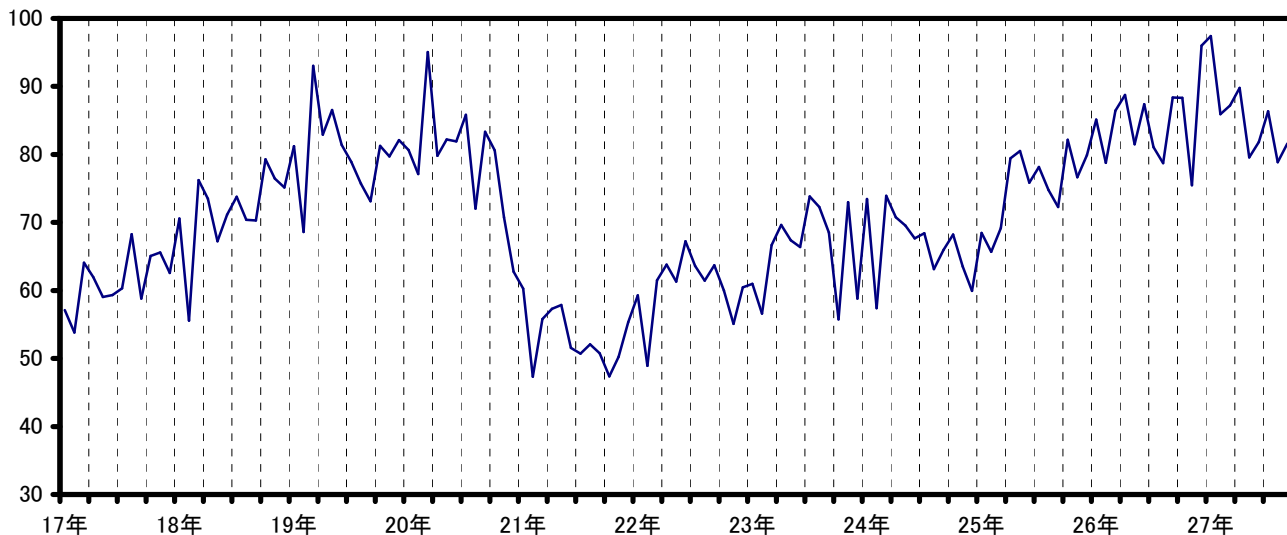
	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	23.5	▲18.7	3.2	▲5.7	▲8.2	11.4	5.7	▲12.0
米国	11.1	6.8	11.4	▲1.4	23.1	36.1	4.0	▲26.0
EU	10.0	22.9	6.9	18.7	3.6	▲10.0	▲7.3	▲8.8

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 産業用大口電力消費量

9月 = 1,020,566千kWh

*前年同月比 2.8%減

(東京電力、中部電力合計)

<概況>

9月の産業用大口電力消費量は1,020,566千kWhで、前年同月比 2.8%減となり、14か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、電気機械（前年同月比 0.8%増）が2か月連続、食品（同 3.3%増）が6か月連続で前年実績を上回ったものの、一般機械（同 1.3%減）が14か月連続、輸送機械（同 5.1%減）が9か月連続、化学（同 1.2%減）が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品（同 8.6%減）が11か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費量(千kWh)	929,943	1,009,368	960,359	931,767	1,012,146	1,078,696	974,589	1,020,566
前年同月比(%)	▲ 3.4	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 5.7	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 2.3	▲ 2.8
全国10社前年同月比(%)	▲ 2.6	▲ 2.3	▲ 2.0	▲ 3.3	▲ 2.8	▲ 1.7	▲ 2.0	▲ 3.3

*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力、電気事業連合会

<県内産業別大口電力消費量前年同月比の推移>

(単位：%)

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般機械工業	▲ 4.3	▲ 3.7	▲ 4.7	▲ 3.0	▲ 5.8	▲ 7.4	▲ 1.0	▲ 1.3
電気機械工業	▲ 0.9	▲ 1.1	3.1	▲ 2.6	▲ 0.8	▲ 0.7	2.5	0.8
輸送機械工業	▲ 1.9	▲ 0.1	▲ 1.9	▲ 7.8	▲ 5.2	▲ 6.0	▲ 6.5	▲ 5.1
化学工業	▲ 0.7	5.1	▲ 2.8	▲ 12.2	▲ 4.8	▲ 1.0	0.4	▲ 1.2
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 12.9	▲ 9.6	▲ 8.6	▲ 10.1	▲ 11.3	▲ 11.3	▲ 6.5	▲ 8.6
食品工業	▲ 2.5	▲ 1.8	0.7	0.3	0.9	3.4	3.3	3.3

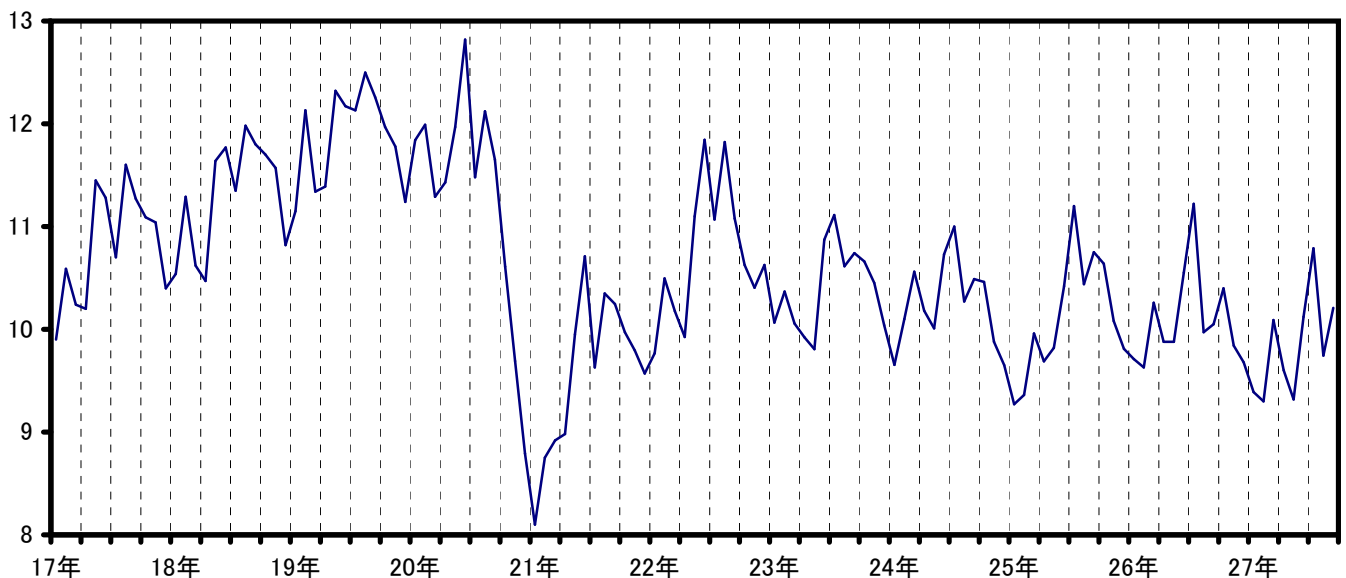
*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力

<過去10年間の推移>

産業用大口電力消費量(億kWh)

<資料>東京電力、中部電力



(2) 鋳工業生産指数

8月 = 89.9

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.1%減

*前年同月比(原指数) : 1.9%減

<概況>

8月の鋳工業生産指数(総合)は89.9(季節調整済指数)で、前月比0.1%減となり、5か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は1.9%減と2か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、化学(前年同月比13.5%増)が3か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同3.3%増)が2か月ぶり、食料品・たばこ(同9.7%増)が4か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同3.8%減)、電気機械(同4.8%減)がいずれも2か月連続、輸送機械(同10.7%減)が6か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	96.2	96.7	98.7	95.3	93.2	92.7	90.0	89.9
前月比(%)	4.7	0.5	2.1	▲3.4	▲2.2	▲0.5	▲2.9	▲0.1
前年同月比(%)	▲7.3	▲1.9	▲1.6	▲1.7	▲4.2	0.5	▲3.9	▲1.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.6	▲2.6	▲1.2	▲0.1	▲4.0	2.0	0.2	0.2

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
はん用・生産用・業務用機械工業	3.1	17.5	2.6	4.3	▲5.4	10.4	▲10.8	▲3.8
電気機械工業	▲10.4	▲16.7	▲10.8	2.3	▲4.2	2.4	▲4.2	▲4.8
輸送機械工業	▲8.7	0.5	▲2.7	▲4.6	▲16.0	▲10.5	▲11.0	▲10.7
化学工業	▲10.8	2.6	5.9	▲1.6	▲5.2	11.1	7.9	13.5
パルプ・紙・紙加工品工業	▲6.0	▲3.7	▲2.0	▲3.4	▲8.2	0.3	▲6.0	3.3
食料品・たばこ工業	▲8.7	▲7.9	▲2.3	▲3.0	23.2	8.3	7.5	9.7

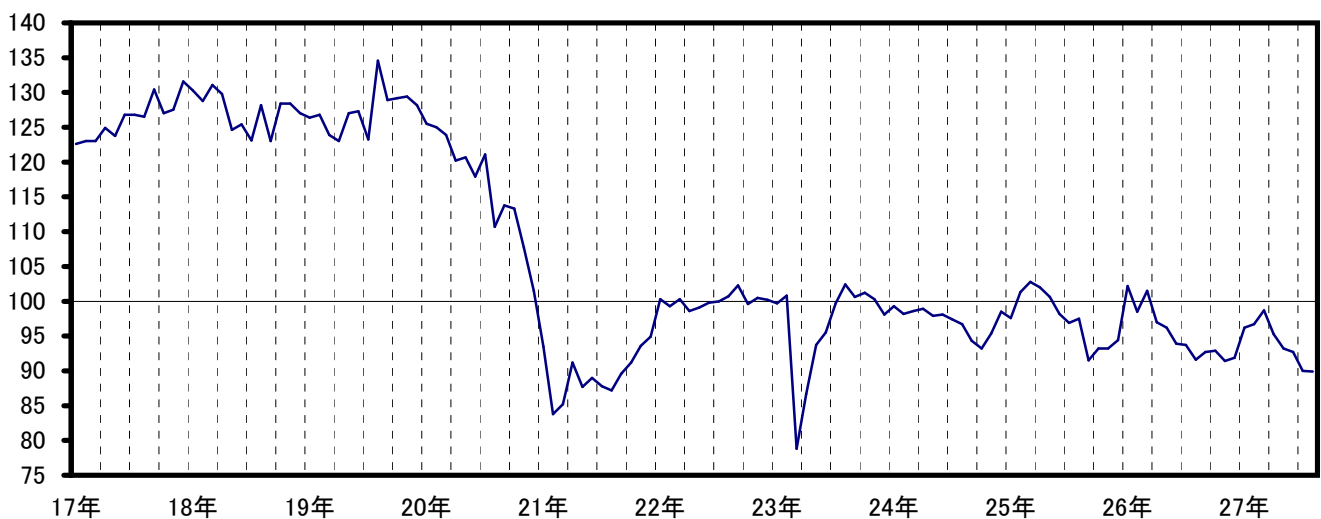
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(3) 鋳工業在庫指数

8 月 = 116.6

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 1.2%増

* 前年同月比(原指数) : 8.2%増

<概況>

8月の鋳工業在庫指数(総合)は116.6(季節調整済指数)で、前月比は1.2%増と2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は8.2%増と6か月連続で前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比1.7%減)が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同0.3%減)が2か月連続、食料品・たばこ(同1.8%減)が6か月ぶりに前年水準を下回ったものの、電気機械(同16.9%増)が20か月連続、輸送機械(同73.6%増)が7か月連続、化学(同3.5%増)が4か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指 数	98.9	103.6	112.2	112.7	111.6	118.9	115.2	116.6
前 月 比 (%)	▲ 2.4	4.8	8.3	0.4	▲ 1.0	6.5	▲ 3.1	1.2
前 年 同 月 比 (%)	▲ 5.7	▲ 0.1	6.5	10.8	3.6	5.9	5.3	8.2
(参考)全国前年同月比(%)	5.7	7.3	6.1	6.3	3.9	3.9	2.7	2.2

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 0.1	▲ 0.7	2.6	▲ 0.6	▲ 6.2	▲ 2.0	▲ 8.0	▲ 1.7
電 気 機 械 工 業	21.2	22.5	28.2	32.3	29.8	29.6	20.5	16.9
輸 送 機 械 工 業	▲ 22.6	35.1	17.2	82.5	20.7	25.9	57.9	73.6
化 学 工 業	▲ 9.4	▲ 6.9	1.8	4.2	▲ 6.8	▲ 6.8	▲ 6.6	3.5
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 1.1	4.2	11.7	7.9	1.8	0.0	▲ 3.4	▲ 0.3
食料品・たばこ工業	▲ 8.4	▲ 1.4	20.2	23.1	7.3	5.5	6.9	▲ 1.8

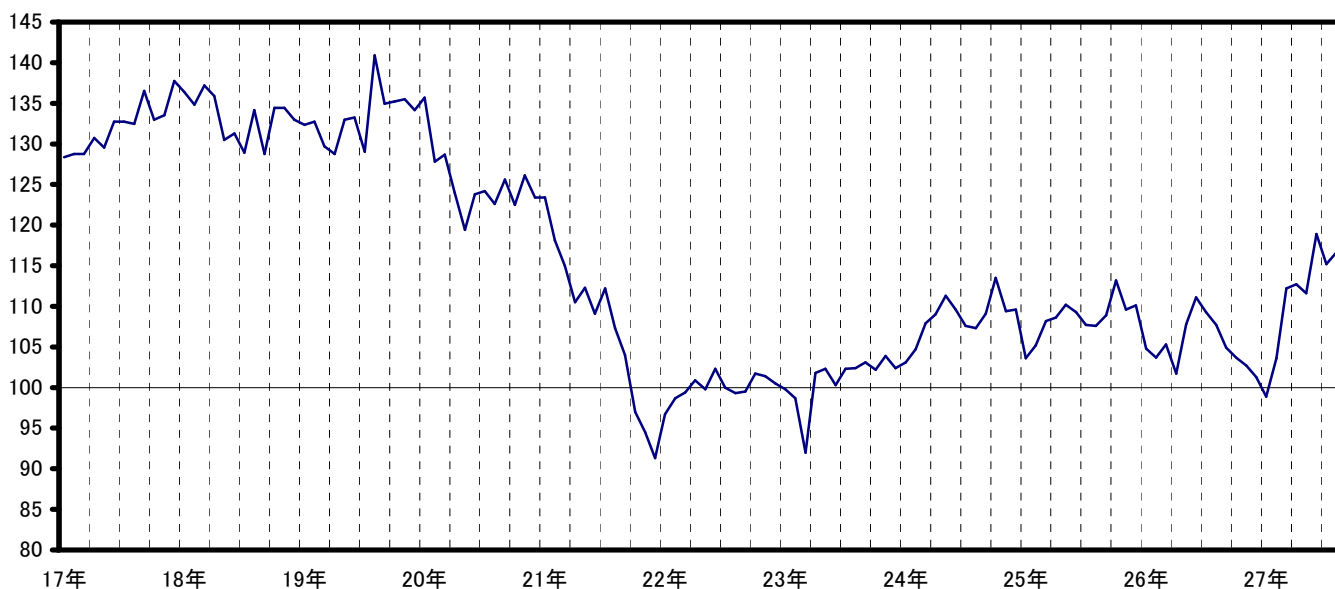
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

9 月 = 1.19倍

*前月比（季節調整値）：0.01ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

9月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.19倍となり、前月を0.01ポイント上回った。また、9か月連続で全国値を下回った。

新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比3.5%増）は2か月連続で前年実績を上回った。

これを産業別にみると、製造業（同3.2%減）、卸売業・小売業（同2.1%減）、医療・福祉（同6.5%減）で前年実績を下回ったものの、建設業（同10.7%増）、情報通信業（同1.8%増）、運輸業・郵便業（同3.8%増）、サービス業（他に分類されないもの）（同20.4%増）で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
県	1.13	1.12	1.13	1.15	1.16	1.16	1.18	1.19
全 国	1.15	1.15	1.17	1.19	1.19	1.21	1.23	1.24

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建 設 業	1.4	11.1	▲ 4.4	▲ 5.2	15.5	7.1	0.1	10.7
製 造 業	9.3	1.7	▲ 0.3	▲ 6.5	▲ 2.7	10.5	3.5	▲ 3.2
情 報 通 信 業	29.3	▲ 4.4	34.2	▲ 9.4	▲ 18.1	9.8	17.5	1.8
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 7.6	17.8	0.3	▲ 17.4	1.3	▲ 3.2	▲ 9.7	3.8
卸 売 業 ・ 小 売 業	5.4	6.8	▲ 22.3	11.5	33.9	1.4	▲ 28.4	▲ 2.1
医 療 ・ 福 祉	2.0	6.1	▲ 8.4	9.9	0.8	▲ 16.6	13.1	▲ 6.5
サービス業（他に分類されないもの）	12.5	19.1	▲ 9.9	▲ 17.3	16.1	7.5	2.9	20.4
合 計	0.6	6.5	▲ 5.2	▲ 3.3	5.7	▲ 2.3	0.4	3.5

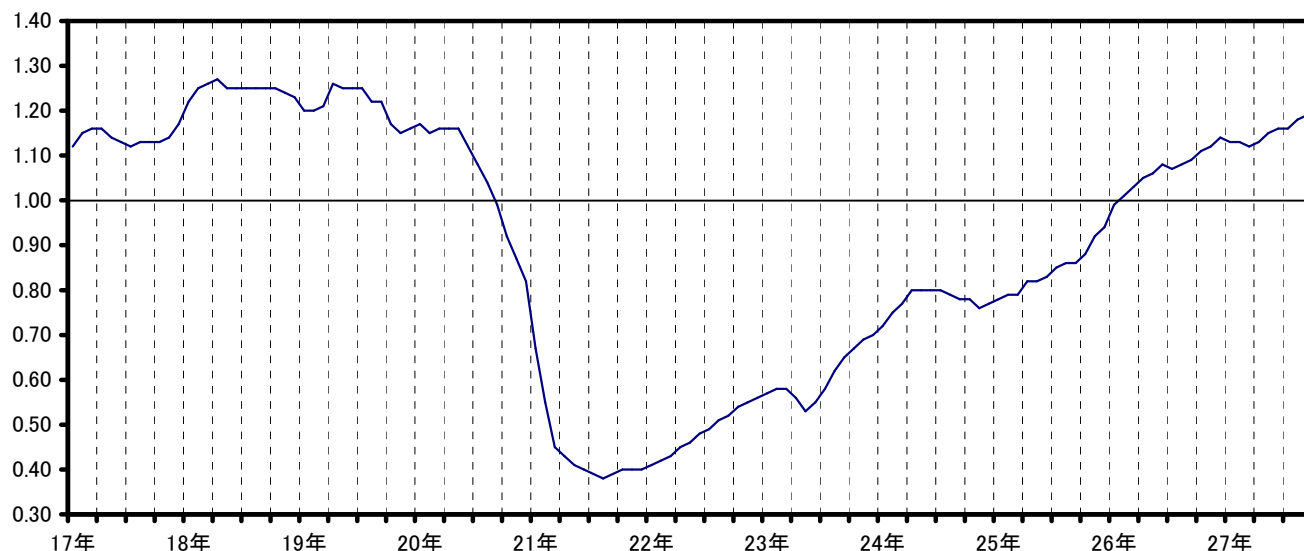
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

9月 = 14,542人

*前月比: 1.8%減

*前年同月比: 6.4%減

<概況>

9月の雇用保険受給者実人員は14,542人で、前月比は1.8%減と2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は6.4%減と26か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は3.4%で、前月と同水準だった。

静岡県(平成27年4~6月)の完全失業率は2.7%で、前期(27年1~3月)から0.2ポイント悪化した。

<最近の動き>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人員(人)	13,190	12,934	12,750	13,771	14,561	14,967	14,815	14,542
前月比(%)	▲5.3	▲1.9	▲1.4	8.0	5.7	2.8	▲1.0	▲1.8
前年同月比(%)	▲5.3	▲2.7	▲6.4	▲8.7	▲4.7	▲5.4	▲5.1	▲6.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲7.5	▲5.3	▲6.5	▲12.6	▲5.8	▲8.2	▲5.9	▲7.1

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完全失業率(全国)(%)	3.5	3.4	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4

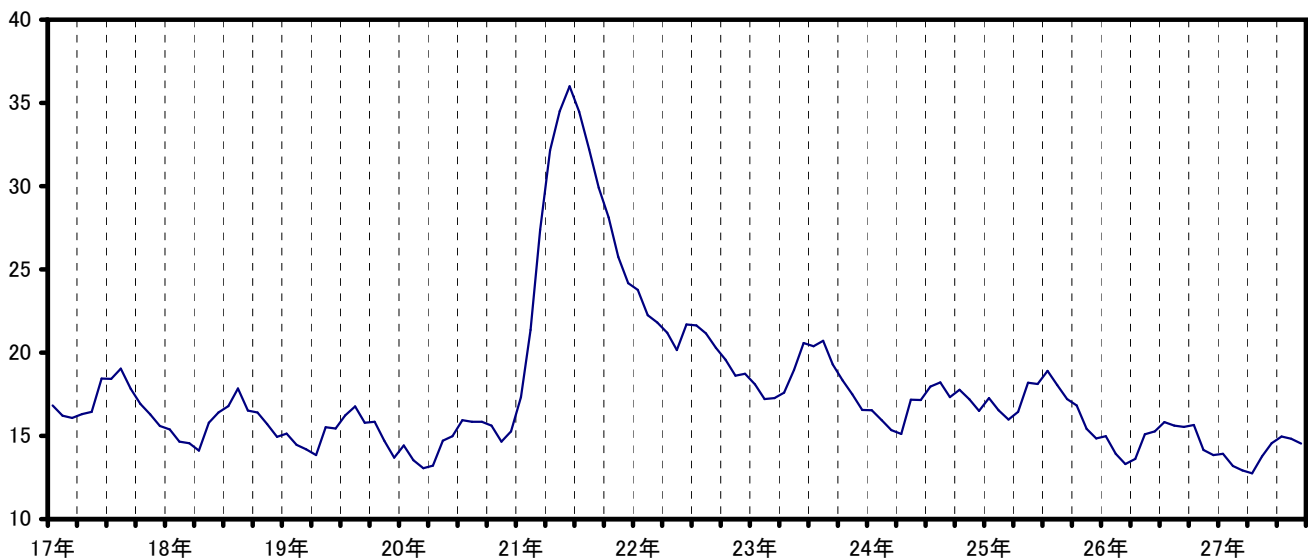
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

8 月 = 104.7

* 前月比(季節調整済指数): 0.2%増

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) * 前年同月比(原指数) : 2.1%減

<概況>

8月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は104.7(季節調整済指数)で、前月比0.2%増となった。また、前年同月比(原指数)は2.1%減となり、3か月ぶりに前年水準を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比21.1%減)が2か月連続、卸売業・小売業(同12.6%減)が7か月連続、その他サービス業(同23.0%減)が41か月連続で前年水準を下回ったものの、製造業(同6.7%増)が4か月連続、情報通信業(同7.9%増)が5か月連続、運輸業・郵便業(同0.4%増)が2か月ぶり、医療・福祉(同20.1%増)が2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	111.9	113.3	111.6	107.4	102.0	106.1	104.5	104.7
前月比(%)	1.1	1.3	▲1.5	▲3.8	▲5.0	4.0	▲1.5	0.2
前年同月比(%)	3.7	3.4	▲1.7	▲1.1	▲1.8	0.3	4.1	▲2.1
(参考)全国前年同月比(%)	0.6	0.5	▲1.9	▲1.2	▲1.2	0.3	▲0.5	0.2

*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建設業	10.4	15.0	38.6	50.3	▲18.0	2.1	▲7.1	▲21.1
製造業	5.0	7.2	1.7	▲2.4	1.5	3.0	6.6	6.7
情報通信業	▲36.5	20.2	▲2.1	46.6	1.4	41.1	69.3	7.9
運輸業・郵便業	2.0	2.2	4.5	▲2.4	▲4.4	10.8	▲6.4	0.4
卸売業・小売業	8.0	▲1.6	▲20.1	▲19.4	▲13.0	▲9.7	▲18.0	▲12.6
医療・福祉	1.8	18.4	▲3.1	▲1.3	▲1.1	▲4.3	18.0	20.1
その他のサービス業	▲15.7	▲23.7	▲28.4	▲8.7	▲5.4	▲24.0	▲14.1	▲23.0
調査産業計	3.7	3.4	▲1.7	▲1.1	▲1.8	0.3	4.1	▲2.1

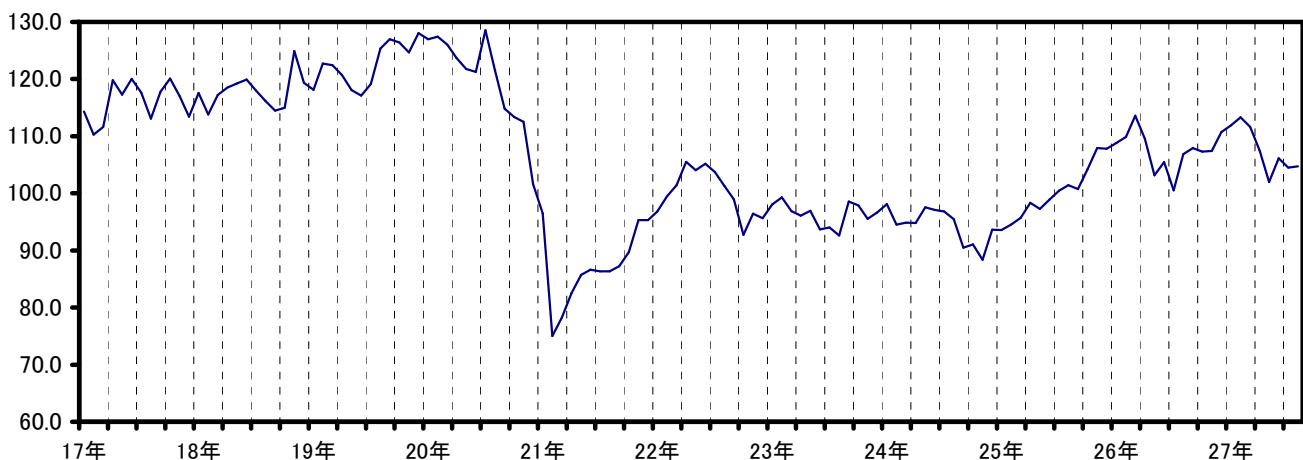
*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

(1) 国内企業物価指数

10月 = 101.5

*前月比: 0.6%下落

(平成22年=100)

*前年同月比: 3.8%下落

<概況>

10月の国内企業物価指数は101.5となり、前月比は0.6%の下落となった。また、前年同月比は3.8%の下落となった。

<最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国内企業物価指数	103.5	103.6	103.8	103.6	103.4	102.7	102.1	101.5
前月比 (%)	0.3	0.1	0.2	▲0.2	▲0.3	▲0.6	▲0.6	▲0.6
前年同月比 (%)	0.7	▲2.1	▲2.2	▲2.4	▲3.1	▲3.6	▲4.0	▲3.8

*平成22年=100

<資料>日本銀行

(2) 消費者物価指数(総合)

10月 = 103.6

*前月比: 0.2%下落

(平成22年=100)

*前年同月比: 0.1%上昇

<概況>

10月の消費者物価指数(総合)は103.6となり、前月比は0.2%の下落となった。また、前年同月比は0.1%の上昇となった。

<最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
消費者物価指数	103.2	103.7	104.0	103.8	103.5	103.7	103.8	103.6
前月比 (%)	0.4	0.5	0.3	▲0.2	▲0.3	0.2	0.1	▲0.2
前年同月比 (%)	2.4	0.7	0.5	0.3	▲0.1	0.0	▲0.1	0.1

*平成22年=100

<資料>県統計調査課

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

9月 = 134,850億円

*前月比: 1.9%増

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 1.6%増

<概況>

9月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は134,850億円で、前月比は1.9%増、前年同月比は1.6%増となった。

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出残高(億円)	132,274	134,686	132,750	132,694	132,695	132,387	132,356	134,850
前月比 (%)	▲0.1	1.8	▲1.4	0.0	0.0	▲0.2	0.0	1.9
前年同月比 (%)	3.2	2.6	2.8	2.6	1.9	1.5	1.4	1.6

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

9月 = 2.148%

*前月差: 0.014ポイント減

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.039ポイント増

<概況>

9月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.148%で、前月から0.014ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.039ポイントのプラスとなった。

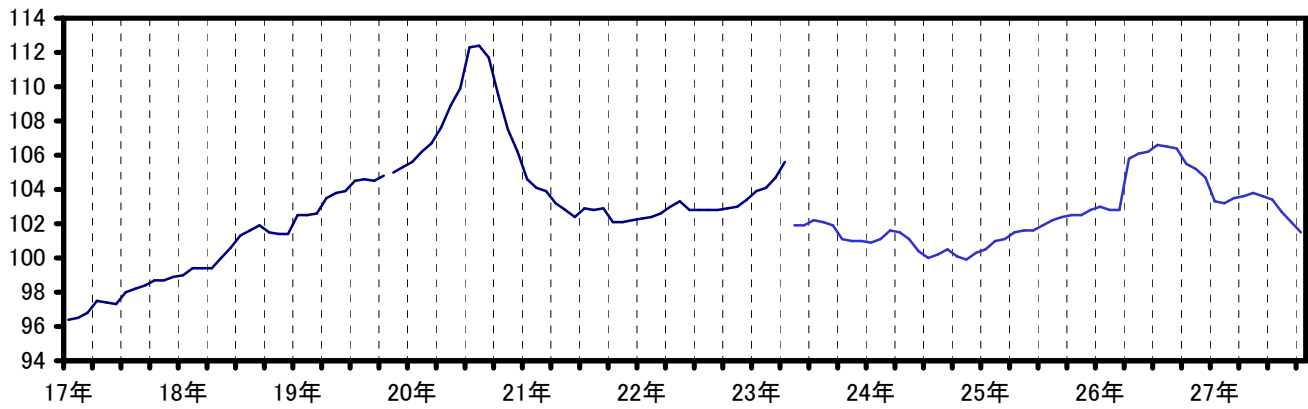
	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出約定金利 (%)	2.142	2.124	2.137	2.137	2.153	2.159	2.162	2.148
前月差(ポイント)	0.011	▲0.018	0.013	0.000	0.016	0.006	0.003	▲0.014
前年同月差(ポイント)	0.036	0.044	0.039	0.044	0.077	0.067	0.050	0.039

<資料>日本銀行静岡支店

＜過去10年間の推移＞

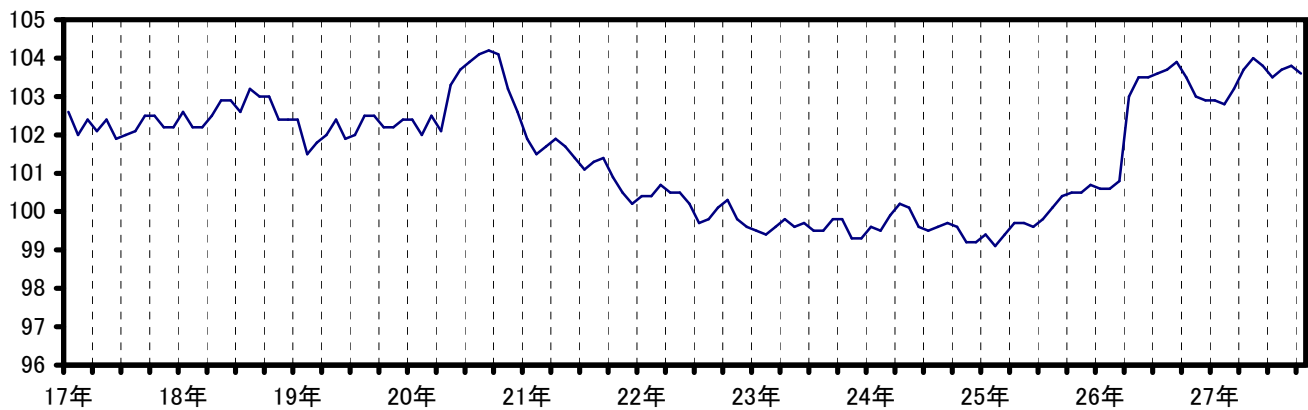
国内企業物価指数(平成22年=100)

＜資料＞日本銀行



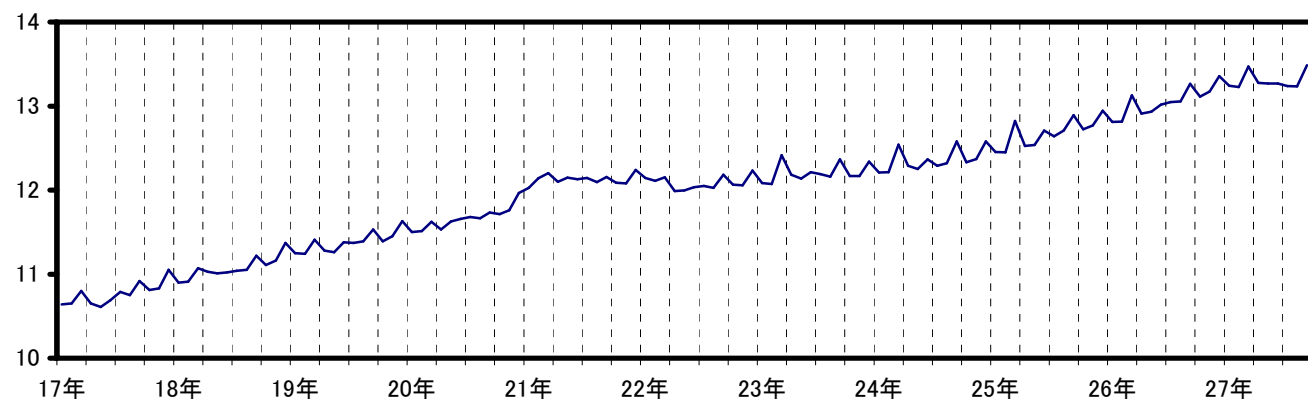
消費者物価指数(平成22年=100)

＜資料＞県統計調査課



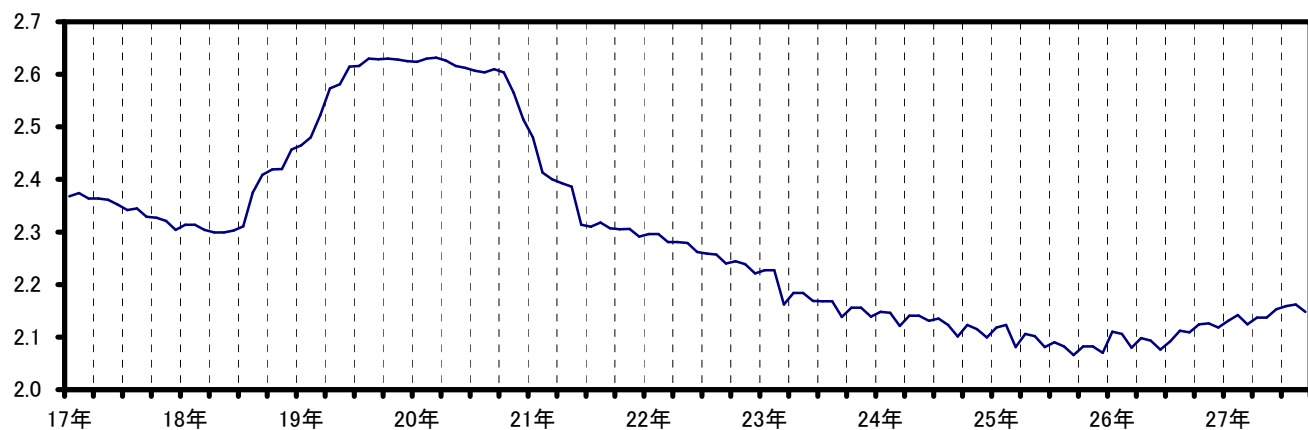
県内金融機関貸出残高(兆円)

＜資料＞日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

＜資料＞日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**9月 = 25,925百万円**

*前年同月比： 2.3%減

<概況>

9月の保証承諾は、金額が25,925百万円（前年同月比 2.3%減）と35か月連続で前年実績を下回り、件数は2,635件（同 6.8%減）と6か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
保証金額（百万円）	21,165	30,874	16,893	17,308	23,995	22,004	20,360	25,925
前年同月比（%）	▲ 2.4	▲ 7.6	▲ 1.3	▲ 22.6	▲ 5.8	▲ 14.0	▲ 5.8	▲ 2.3
保証件数（件）	2,340	3,215	1,857	1,956	2,639	2,365	2,233	2,635
前年同月比（%）	▲ 3.0	0.4	▲ 4.1	▲ 16.7	▲ 2.6	▲ 13.5	▲ 2.5	▲ 6.8

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**10月 = 120.06円/ドル**

*前月差： 0.16円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 12.00円安

<概況>

10月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は120.06円で、前月と比べて0.16円の円高となり、2か月連続の円高となった。

<最近の動き>

	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平均相場（円）	120.39	119.55	120.74	123.75	123.23	123.23	120.22	120.06
前月差（円）	1.82	▲ 0.84	1.19	3.01	▲ 0.52	0.00	▲ 3.01	▲ 0.16
前年同月差（円）	18.12	16.99	18.95	21.70	21.51	20.27	13.13	12.00

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****10月 = 18件**

*前年同月比： 40.0%減

<概況>

10月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は18件で前年実績を下回り、負債総額は3,590百万円で前年実績を上回った。

原因別にみると、既往のシワ寄せ、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が15件と全体の83.3%を占め、215か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

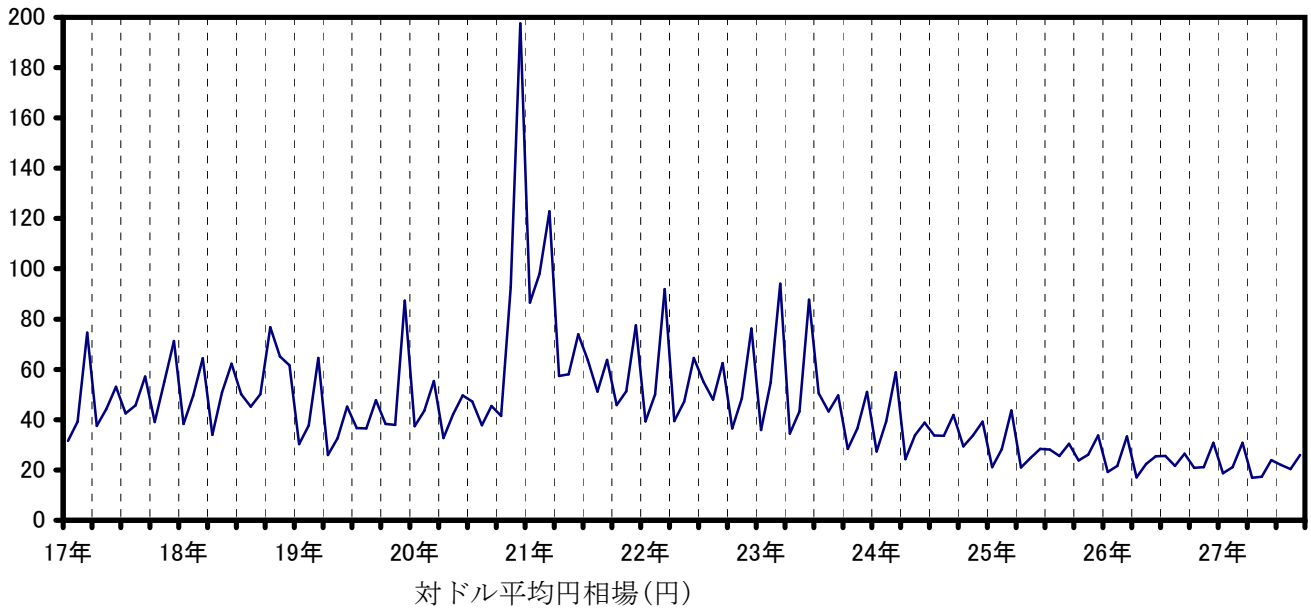
	27年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
倒産件数（件）	23	25	21	21	23	18	27	18
前年同月比（%）	▲ 14.8	8.6	10.5	▲ 32.2	▲ 17.8	▲ 28.0	▲ 12.9	▲ 40.0
うち不況型倒産件数（件）	21	20	13	16	19	16	19	15
負債総額（百万円）	2,983	4,007	2,878	8,601	3,985	1,899	3,341	3,590
前年同月比（%）	▲ 21.0	43.5	▲ 6.7	112.0	▲ 5.2	▲ 59.5	▲ 56.5	12.7

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

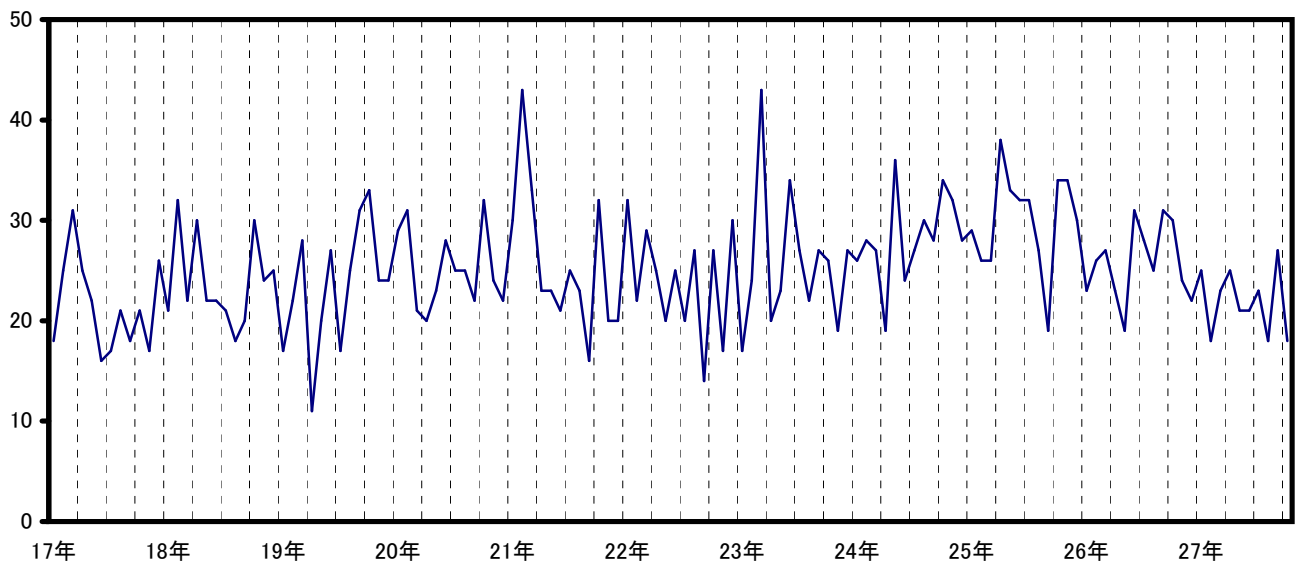
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成27年9月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>9月の国内二輪車生産台数は、45,157台（前年同月比10.7%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは37,796台（同 1.2%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。車種別では、原付第二種（51～125cc以下）が12,571台（同39.8%増）と特に好調であった。</p> <p>輸出向けは、31,161台（同16.4%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。輸出の主力車種で、主に北米・ヨーロッパに輸出している小型二輪車（251cc以上）が、20,839台（同22.7%減）と低調であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>9月の自動車国内生産台数は828,817台（前年同月比 2.6%減）となり、15か月連続で前年実績を下回った。また、輸出は419,005台（同 2.2%増）となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車、トラックとも前年実績を下回り、全体でも15か月連続で前年実績を下回っている。</p> <p>輸出は、アジア向けが8か月連続、欧州向けが13か月連続で前年実績を下回ったものの、北米向けが7か月連続で前年実績を上回ったことから、全体では2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>9月の冷蔵庫の国内出荷額は419億900万円（前年同月比 3.6%増）と5か月連続で前年実績を上回った。国内出荷台数は347千台（同 0.6%減）で、5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>9月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは450千台（同11.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。業務用は、69千台（同 2.9%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>8月の携帯電話と公衆用 P H S を合わせた移動電話の国内出荷台数は、1,473千台（同31.7%増）と3か月連続で前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、512千台（同40.5%増）となり、単月のスマートフォン比率は34.8%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用 機械	<p>9月の工作機械の受注総額は、1,097億1,500万円（前年同月比19.1%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は618億3,300万円（同28.4%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>また、内需も478億8,200万円（同 2.6%減）で、27か月ぶりに前年実績を下回ったが、自動車業界向けは159億8,200万円（同11.5%増）と、前月に引き続き前年実績を上回った。</p> <p>一方、県内中小企業からは、一部の企業では仕事量も増え、先行きは明るくなりつつあるものの、小規模企業は依然として厳しいとの声も聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>9月の県内楽器メーカーの販売金額は、57億3,000万円（前年同月比 7.0%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが35億200万円（同15.9%増）で、国内向けが22億2,800万円（同 4.5%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,945台（同 横ばい）であった。機種別では、アップライトピアノが1,880台（同 0.2%増）、グランドピアノが1,065台（同 0.4%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,179台（同 1.3%減）、国内向けが1,256台（同26.7%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>9月の紙・板紙の国内出荷高は、2,086千ト（前年同月比 1.5%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は1,166千ト（同 2.1%減）で、18か月連続で前年実績を下回り、板紙は920千ト（同 0.7%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、654千ト（同 1.1%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、145千ト（同 1.3%減）と、6か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会</p>
缶詰・飲料	<p>9月の県内生産量は、食缶類が国内向け906千箱（前年同月比 4.3%増）と、前月のマイナスから再びプラスに転じ、前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は729千箱（同10.3%増）と8か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶も541千箱（同 9.2%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は178千箱（同14.5%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,133千箱（同15.6%増）で、15か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>9月の広幅織物の県内生産は、1,348千㎡（前年同月比 3.7%増）であった。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,311千㎡（同 4.9%増）であり、別珍・コールテンの生産は、37千㎡（同26.3%減）であった。</p> <p>小幅織物の県内生産は、39千㎡（同 6.2%減）であった。</p> <p>産地では、引き続き、生産量が減少傾向にある。このため、県内外そして海外へと各種展示会への出展による新規需要・販路開拓を図っている。9月は、東京インターナショナル・ギフト・ショー及びイタリア・ミラノの展示・商談会へ出展した。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>9月の全国百貨店での家具販売額は、59億6,700万円（前年同月比 7.0%増）、また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、416億9,100万円（同 4.4%増）であった。</p> <p>県内業界では、東京や県内の展示会に出展するなど、販路拡大に取り組んでいる。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、地域産業課</p>
小 売 業	<p>9月の県内百貨店の売上高は、中旬から下旬にかけて晴天日が多く、前年に比べ休日が増加するなど好要因があったが、上旬に降雨日が多く、台風18号の影響を受けたため、全体としては前年を下回った。</p> <p>ある百貨店からは、富裕層を対象とした特選ブティックや外商、また美術、宝飾、貴金属などの高額品は好調となったが、主力の婦人服など衣料品の販売が振るわず苦戦しているという声が聞かれた。</p> <p>ある食品スーパーからは、野菜の相場高及びプレミアム商品券の利用により客単価は増加したが、来店客数の前年割れなどが影響し、全体として売上高は、対前年比でマイナスとなったという声が聞かれた。</p> <p>9月の県内商店街では、シルバーウィークに、西部地域では仮装コンクールや花火大会が行われ、東部地域では、中心市街地の活性化のため、駐車場を利用して商店の出店やアートフェスティバルが開催されるなど、商店街への誘客促進のための取組が行われた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>9月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約48万人で、前年同月比10.2%の増となった。主にシルバーウィーク期間中、天候に恵まれたことが増加に繋がった。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両は、約69万台と前年同月比2.0%の増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

= IVデータからみた県内主要産業 =

<二輪車>

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完成車生産台数(台)	19,802	21,173	21,577	15,496	13,721	13,417	17,148	15,097	18,771
前年同月比(%)	12.4	2.7	6.4	17.1	▲5.0	▲2.6	▲12.3	▲8.1	▲7.6
KD輸出額(百万円)	1,127	1,010	1,030	1,020	937	822	913	708	794
前年同月比(%)	8.0	4.7	17.5	▲16.7	▲11.3	▲32.0	▲17.8	▲26.0	▲37.3

<楽器>

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生産総額(百万円)	3,384	3,419	3,662	3,946	3,720	4,264	4,255	3,254	3,696
前年同月比(%)	▲4.5	▲3.0	17.1	▲12.5	▲14.8	▲9.3	▲10.6	▲2.4	▲4.0

<缶詰>

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
食缶生産高(千ケース)	790	889	930	925	893	1,059	1,008	859	910
前年同月比(%)	▲3.8	15.5	▲4.8	▲3.7	▲2.8	16.9	3.9	▲1.8	4.2
うち水産缶詰(%)	0.9	12.8	2.7	1.9	3.7	17.0	5.2	4.0	10.3
農畜産缶詰(%)	▲15.7	23.1	▲24.1	▲19.4	▲21.0	16.4	▲0.1	▲19.0	▲14.5
飲料缶生産高(千ケース)	4,946	5,202	6,976	7,891	7,820	8,765	8,637	7,172	7,133
前年同月比(%)	▲14.3	▲26.9	▲18.6	▲9.6	▲15.6	▲3.7	▲3.5	▲12.5	15.6

<繊維>

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
広幅織物(千㎡)	1,443	1,508	1,519	1,519	1,222	1,225	1,149	1,098	1,348
前年同月比(%)	▲11.6	▲5.3	▲3.7	▲1.7	▲2.8	▲0.6	▲1.7	0.3	3.7
小幅織物(千㎡)	36	38	38	39	40	38	36	33	39
前年同月比(%)	▲3.7	6.3	▲1.7	10.4	6.3	▲3.9	▲8.9	▲15.7	▲6.2

<観光>

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
観光施設(10施設)入込 (千人)	252	244	470	442	671	344	304	544	477
前年同月比(%)	▲11.5	30.4	27.5	▲31.9	▲25.1	▲22.6	16.6	▲3.6	10.2
有料道路(5路線)通行量 (千台)	623	606	762	650	717	624	709	847	692
前年同月比(%)	15.2	17.3	0.0	▲3.1	▲5.9	▲0.7	1.0	0.7	2.0

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・百貨店販売額	・産業用大口電力消費量	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・雇用保険受給者実人員	・消費者物価指数
・自動車新規登録台数	・鉱工業在庫指数	・完全失業率	・県内金融機関貸出残高
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・信用保証協会保証金額
・清水税関支所管内輸出額			・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
消費者物価	総務省統計局	http://www.stat.go.jp/
家計調査		
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成27年11月号 通巻475号

発行 静岡県経済産業部
平成27年11月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>